（退職報償経理）　　平成27年３月31日現在

摘要	内訳	金額
	円	円
資産		31,504,184,228
流動資産		7,176,960,492
現金		50,000
預金		6,328,490,968
有価証券		801,187,352
未収収益		47,232,172
固定資産		24,327,223,736
有形固定資産		13,865,004
建物	6,211,984	
減価償却累計額	△ 2,879,873	3,332,111
建物附属設備	5,519,465	
減価償却累計額	△ 1,500,472	4,018,993
器具及び備品	10,865,398	
減価償却累計額	△ 4,351,498	6,513,900
無形固定資産		30,632,303
ソフトウェア	14,931,303	
敷金	15,701,000	
投資		24,282,726,429
投資有価証券	24,182,726,429	
国債・地方債	20,982,761,510	
政府保証債	99,873,733	
財投機関債	1,900,000,000	
その他の有価証券	1,200,091,186	
預金	100,000,000	
大口定期預金	100,000,000	
負債		31,504,184,228
流動負債		13,118,562,000
未払金		315,384,000
未払給付引当金		12,803,178,000
固定負債		18,385,622,228
退職給与引当金		99,507,400
変動調整準備金		18,286,114,828
差引資産		**0**

Ⅱ　事業状況報告書

事業の状況

1　公務災害補償業務に係る分

⑴　消防団員等公務災害補償責任共済事業

基金は、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律（以下「責任共済法」という。）第２条第１項に定められている消防団員等公務災害補償責任共済契約に基づき、市町村等（市町村又は水害予防組合をいう。以下同じ。）の補償に要する経費を市町村等に支払っている。

平成26年度の損害補償費の支払額は、1,867,725千円（2,602件）で、前年度に比べて33,767千円の増となっている。

平成26年度に新たに損害補償費が支払われた者は、団員1,410件（死亡１件、負傷1,409件）、消防作業従事者等52件（死亡１件、負傷51件）で、前年度に比べて団員144件の増（死亡１件の減、負傷145件の増）、消防作業従事者等１件の増（死亡１件の増）である。

主な補償種目別の支払状況は、次のとおりである。

ア　療養補償費（傷病の治療に必要な費用を支給するもの）として244,824千円（1,594件（うち新規1,462件））を支払った。

イ　障害補償費（傷病の治ゆ後に一定の障害が残った者に年金又は一時金を支給するもの）として247,355千円を支払った。うち、年金として191,672千円（102件（うち新規１件））、一時金として55,683千円（22件）を支払った。

ウ　遺族補償費（死亡した者の遺族に年金又は一時金を支給するもの）として1,301,760千円を支払った。うち、年金として1,295,629千円（646件（うち新規２件））、一時金として6,131千円（１件）を支払った。

また、平成27年度以降の補償年金等の支払に備えて、責任準備金として22,539,959千円（対前年度686,409千円の減（3.0％減））を計上している。

⑵　消防団員等福祉事業

①　消防団員等福祉給付事業

消防団員等福祉給付事業は、公務上の災害を受けた団員及び遺族の福祉を増進するため、基金が市町村等に代わって行うものである。

平成26年度の福祉給付事業の支給額は、424,240千円（1,052件）で、前年度に比べて64,025千円の減となっている。

主な支給種目別の支給状況は、次のとおりである。

ア　奨学援護金として37,245千円（94件）を支給した。

イ　障害特別援護金として28,850千円（20件）を支給した。

ウ　障害特別給付金として50,050千円を支給した。うち、年金として40,521千円（95件（うち新規１件））、一時金として9,529千円（20件）を支給した。

エ　遺族特別給付金として252,994千円を支給した。うち、年金として251,768千円（552件（うち新規１件））、一時金として1,226千円（１件）を支給した。

また、変動調整準備金として14,948,512千円を計上しているが、このうち4,547,456千円は、平成27年度以降の福祉年金の支給に備えたものである。